

大阪市東区道修町出土の豊臣時代の木簡について 中尾芳治
一九八六年度平城宮跡出土の木簡 館野和己

寺崎報告は一九八六年に出土した木簡と八四年以前に出土した未報告の木簡を全国的に取り上げその概要を報告したものである。清水報告は、地子の荷札木簡に論点をしばって報告された。また、中尾報告は、豊臣時代の荷札木簡についての報告で、脇坂など大名の名前が見られることが注目をひいた。

それぞれの報告については、質疑討論が活発に行われ、総括討論で締めくくられた。最後に直木委員から閉会の辞があり、参加者への謝辞が述べられた。

委員会報告

◇一九八六年一月二六日(土) 於奈良国立文化財研究所

総会に先立って、会務・編集の状況、総会・研究集会の運営について検討が行なわれた。

◇一九八六年一月二六日(土) 於奈良女子大学

総会後新委員・監事によって、一九八七年度の役員を互選した。

◇一九八七年六月一七日(水) 於奈良国立文化財研究所

新入会員の承認、一九八六年度の会計報告、木簡研究九号の編集計画、研究集会の内容の検討、十周年記念事業の計画についてなどが論議された。同日、会計監査もおこなわれた。

◇一九八七年十一月一日(水) 於奈良国立文化財研究所

新入会員の承認、研究集会の内容の検討、八七年度前半の会計報告などが行なわれ、十周年記念事業として記念出版を行なうことが決った。

木簡学会役員

会 長	平野 邦雄	田 中 琢	狩 野 久
副 会 長	大庭 脩	岩 本 次郎	佐 藤 宗 諄
委 員	青木 和夫	笹 山 晴生	町 田 章
	鬼頭 清明	原 秀 三 郎	吉 田 孝
	早川 庄八	八 木 充	
	松下 正司		
監 事	和田 萃	長 山 泰 孝	栄 原 永 遠 男
幹 事	田 中 稔	加 藤 優	東 野 治 之
	綾 村 宏	寺 崎 保 広	
	館 野 和 己		
	橋 本 義 則		